

プログラミング言語実験

第4回

コンピュータ大貧民

— クライアントの基本機能の実装

(場にカードがある場合のペア出し、階段出し機能の実装) —

2019年05月06日、07日

4 場にカードがあるとき

ここまでの状態ですと、場にペアが出た場合、何もカードを出すことが出来ません。そこで、場にペアがあるときにもペアを出す方法を考えましょう。ここでは、解答は載せません。その代わり、注意点とヒントを以下に列挙します。

- `search_low_pair` を改造した新しい関数 `search_low_pair_restrict` を作ります。この関数は、指定した枚数のペアを `dst_cards` に乗せます。
- `search_low_pair_restrict` は、枚数を指定するため、`search_low_pair` から引数が1つ増えます。
- `search_low_pair` では、2枚以上のペアを探し、出せるだけの枚数を `dst_cards` に乗せました。一方、`search_low_pair_restrict` は、指定された枚数以上のペアを探し、指定された枚数を `dst_cards` に乗せます。
- 関数 `search_low_pair_restrict` が書けたら、それを `search_cards_restrict` で使用します。実際には、前処理を行ってから、`info_table` を作り、その結果を `search_low_pair_restrict` に渡します。単騎のとき、`search_low_card` の前にどのような処理していたかを思い出しましょう。

余裕のある人向け：場にカードがあるときのペアの提出 —

場にペアがあるとき、手持ちのカードから出せる最も弱いペアを提出するように、プログラムを書き換えなさい。

階段も、同様にして考えることが出来ます。

余裕のある人向け：場にカードがあるときの階段の提出 —

場に階段があるとき、手持ちのカードから出せる最も弱い階段を提出するように、プログラムを書き換えなさい。